

活動紹介

NPO 法人千葉県森林インストラクター会

講座名	地域部会（中央部会 月例部会）		
開催日時	2023年7月16日（日）9時30分 ～11時30分		
開催場所	山武市成東・東金食虫植物群落～歴史民俗資料館	参加者	7名

活動概要 今回の観察地、名前だけは知っているという FIC のメンバーの方は多いのではないのでしょうか。今月の中央部会は、成東・東金食虫植物群落をボランティアガイドの方に案内をしていただき、食虫植物を中心に観察しました。当群落は、大正9年に日本で初めて国の天然記念物に指定されて以来、多くの方の「貴重な食虫植物を守りたい」という強い意志で守られてきました。熱中症警戒情報が発令されていた観察日当日も、「成東・東金食虫植物群落を守る会」のメンバーは草刈りをし群落の保全に取り組まれていました。国内約20種の食虫植物の内、当地では8種類の食虫植物が生育しています。群落内では、食虫植物以外にも多くの湿生植物、中生植物が観察できます。当日は食虫植物以外にも、コオニユリ、ヌマトラノオ、オミナエシ等観察できました。四季折々の貴重な植物が観察できるフィールドです。



コモウセンゴケ。8mmほどの花をつけています。根生葉で捕虫。



シロバナナガバノイシモチソウ。約1cmの花。葉の線毛で捕虫します。



ミミカグサ。唇形の8mm程の黄色の花が。地中の捕虫のうで捕虫



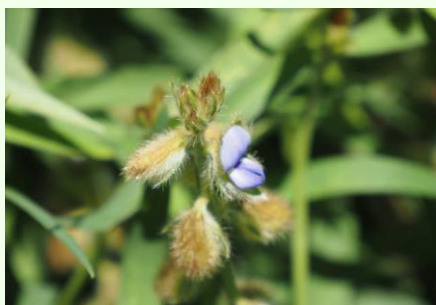
コオニユリ。やや背丈は低めですが、この時期多くみられます。



ヌマトラノオ。オカトラノオのように垂れずに直立した姿です。



オミナエシ。湿地は守りたいもののオミナエシの群落も貴重。



タヌキマメ。ガクに褐色の毛が密生しています。



イヌゴマ。湿地を好み、ゴマに似ているものの食用にならないので「イヌ」



ガイドの方にシャッターを依頼。強い日差しの下、顔は不明ですが、

FIC参加者 稲岡、植沢、小高、菅井、望月、矢野、宮崎